

謹賀新年



兵庫工業会
NEWS

2024年1月1日

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.312



2024年に向けて 出発進行！



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、何といても阪神とオリックスの関西勢対決やヴィッセル神戸の初優勝など明るい話題に事欠かない兵庫県でありました。5月に新型コロナウイルス感染症の分類見直しがあり、日本経済は長かったトンネルをようやく抜け出して着実な回復基調にありました。しかしながら、ウクライナに加えて中東で紛争が始まったことや中国経済の停滞が鮮明になってきたことなど国際情勢が混迷を深め、企業業績にも次第に下押し圧力がかかるようになりました。諸物価の上昇傾向が継続するなか、賃上げが大きな社会的課題となる一方、従来からの課題であった人材不足は一向に解消しません。このように、ものづくり企業経営者にとって本当に頭の痛い状況が続く一年であったと思います。

さて本年はどのような年になるのでしょうか？干支は甲辰（きのえ・たつ）で「今までの努力が報われて大きな成長を遂げる」という意味があるそうです。空高く駆ける竜のように飛躍と発展の明るい年になることを心から願っています。兵庫工業会も会員企業の皆さまに喜んで頂けるよう、しっかりと活動を進めて参ります。

本年も従来の活動に加えて「SDGsの普及」と「DXの推進」に力を入れて取り組みたいと考えております。

まず、SDGsについてですが、ここ最近、世の中でSDGsという言葉自体はどんどん認知度を高めています。特に教育現場では頻度高くSDGsが取り上げられ、Z世代と呼ばれる若い人たちが学んでいます。彼ら・彼女らにとって「その会社がどうSDGsに取り組んでいるのか」は大きな注目ポイントで、当然ながら就職・転職活動に影響します。もはや「SDGsに取り組まないことは、大きな経営リスクになる」と言ってもよいのではないかと、思います。幸い、ものづくり事業はSDGsと親和性が高く、普段取り組んでいる

改善活動は、実はSDGsそのものである、というケースが殆どです。そのため、できるだけ多くの会員企業に「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」やその次の「認証事業」を利用して頂けないか、と考えています。そしてSDGsを事業の持続可能性向上、企業価値向上にうまく役立てて頂ければ、と期待します。

次にDXについてですが、労働生産性向上を目的として、多くのものづくり企業でデジタル技術がすでに広がっています。しかし、DXという言葉が意味するところは、「デジタル技術という手段により事業改革する」というものです。最近の生成AI（人工知能）技術に見られるようにデジタル技術の進歩は驚異的で、上手に使えば会社経営全体に大きな恩恵をもたらす可能性があります。もちろん、そう簡単なことではありませんが、「デジタル技術を使って事業構造の改善に成功した」、という企業がこれからいくつも現れることを期待しています。兵庫工業会として、「DXリカレント教育」など、全体の底上げを図る活動を続けると同時に、「デジタル技術を活用した新事業開発の支援」など、より踏み込んだ活動も進めていきたいと考えています。

もちろんSDGs、DX以外の活動もしっかりと進めて参ります。ものづくり企業の力の源泉であるひとづくり（人材育成）の推進、会員相互のつながり・交流の強化、最新の技術・知識の取得、グローバルな企業活動への支援など今まで以上に充実した内容を提供できるよう努めます。

そして会員各位が「自社の経営力強化に役立っている」、「本当に入会してよかった」と感じていただける兵庫工業会を目指して前進いたします。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたしております。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

新年のご挨拶



副会長 金井 宏彰 (シン・ものづくり委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

兵庫工業会も2025年に40周年を迎えるにあたり更に会員の皆様に愛され、役立つ団体を目指していかなければなりません。事業内容の充実のみならずスピード感ある組織運営を含め時代に即した機能を持たなければなりません。

昨年、その意味でも組織の活性化を目的に委員会の再編を行い、私が担当させていただいていた「産業・技術振興委員会」と村元前副会長率いる「グローバル化推進委員会」2委員会の内容を精査して、「産業振興委員会」(吉井副会長ご担当)と「シン・ものづくり委員会」(金井担当)を設立しました。

担当の「シン・ものづくり委員会」としましては、世界市場のなかで残念ながら競争力低下・地位低下が危惧される日本のものづくりの復権のため、DX・SDGsを軸に製造業が抱える人手不足・生産性向上・社会課題解決などサステナビリティを目指して活動して参ります。

本年も倍旧のご支援ご指導をお願い申し上げます。



副会長 神門 登 (会員交流委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。

2024年の世界経済はおおむね停滞期が続く見通しです。一方日本経済は「失われた30年」と言われた低迷から脱却する大きな転換期を迎えています。これは中小企業にとってはリスクであり、また大きなチャンスです。従来の「コストリーダー」から「クオリティリーダー」への経営基本戦略の転換です。会員交流委員会では会員間の交流に加えて、兵庫県下の各地域の企業、行政、他府県の企業との特徴ある交流機会を提供しています。経営者自らが交流を通じて、自社の経営に資する有用な情報を得る絶好の機会です。一つの情報を自社の経営に生かすまでには計り知れない覚悟と努力が必要ですが、全ては「一つの有益な情報」から出発しています。

会員交流委員会は今年も皆様のお役に立てるよう各事業を行って行きます。引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 吉井 満隆 (産業振興委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。

2023年は、足掛け4年に及ぶコロナ禍も収束し、いよいよアフターコロナに向けた転換期を迎えた年でありました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻やガザ地区での戦闘も長期化の様相を呈しており、今後、直接・間接的に我が国の経済にも大きな影響が懸念されます。

こうした中、兵庫工業会では、一昨年に続き、昨年のテクノフォーラム2023において「SDGs 夢と現実への活用」と題してB to Bにおける活用の講演や事例発表がなされ、SDGsがいよいよ経営課題の一つとして位置付けられ、新しいビジネスを生み出し、事業の持続的成長を高める活動に繋がってきたと実感しております。

今後とも、会員各社の経営力強化に役立つよう「積極的なSDGsの活用」を進めてまいりたいと思いますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

この一年の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 小谷 要 (人材育成委員会 委員長)

新年、あけましておめでとうございます。

ようやく新型コロナウイルスの感染が収まり日本の社会経済活動が正常化しつつあり、景気は回復基調にあります。一方で、欧州や中国の景気回復の遅れ、ウクライナ／中東の紛争、物価上昇や労働力不足など、依然として会員企業様にとって先行きが不透明な状況が続いています。

この様な厳しい環境下に於いて、既存の事業は今よりも更に生産性を向上させて、新しい事にチャレンジできる様に企業レベルをUPする事が重要だと思います。今年も人材育成委員会は生産性向上のための「現場力」の向上にフォーカスした教育、研修を行ってまいります。

我々人材育成委員会の活動が会員企業様のお役に立てるようご指導を賜りながら全力で取り組んでまいりますので、今年もよろしくお願ひいたします。

兵庫の新たなステージへ



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらししてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思います。

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを産み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者の安全安心な暮らしを守ります。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、高齢者に多い自転車死亡事故の減少につなげます。また、ソフト・ハード両面からユニバーサルツーリズムを進め、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができる社会を実現します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドパビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

兵庫県知事

齋藤元彦

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

2023年は、新型コロナウイルスが感染症法上の2類から5類へ変更され、日常生活へ回帰する目途が立ちました。この危機を乗り越えられたのは、医療従事者のみなさんの献身的なご尽力をはじめ、多くの方々にご協力いただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

一方で、少子高齢化や東京一極集中などウイルス出現前からの課題は存在し続けており、人口減少時代における政策展開が求められます。

神戸市では、人口減少幅を抑制する取り組みとして、若年世代にとって魅力的なまちであり続けるよう、切れ目ない子育て支援をはじめ、スタートアップ施策や企業誘致といった魅力的な産業創出、郊外拠点駅周辺のリノベーションなどによる暮らしの質の向上、都心三宮・ウォーターフロント再整備など非日常のわくわくするような都市空間形成といった施策を強力に推進しています。

市民一人一人が幸せを実感できる、温かみのあるゆったりとしたまちづくりに取り組み、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向け、果敢に挑戦していきます。

本年5月17日には、東アジアで初めてとなる世界パラ陸上競技選手権大会が神戸で開催されます。障がいや多様性に対する理解が深まり、共生社会をつくっていくきっかけとなる大会にするため、取り組みを進めていきます。市民のみなさんにも、ボランティアや大会広報など広くご協力いただき、共に大会を盛り上げていただくようお願いします。

また、2025年には大阪・関西国際万博の開催や神戸空港の国際チャーター便運用が始まります。観光・ビジネス需要の創出を推進し、市内経済に波及させながら、国際都市神戸としての価値を一層高めていく取り組みを推進していきます。

現在神戸市では、市が目指すまちの将来像や方向を描く新たな総合基本計画の策定を進めています。是非みなさんから神戸の未来についてご意見をいただき、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、兵庫工業会におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられますことに、深く敬意を表します。これからも兵庫工業会のみなさまと力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを受け賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年がみなさんにとって、すばらしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

年 新 賀 謹

会 副	長 会	宮 金	脇 井	新 宏	也 彰	理 事	井 井	上 川	直 利	也 潔
〃	〃	神 吉	門 井	滿 宏	登 隆	〃	番 柴	所 田	利 啓	行 勲
〃	〃	小 神	谷 戸	〃 宏	要 明	〃	中 酒	川 井	秀 松	之 起
専 務	理 事	川 安	井 原	浩 智	論 一	〃	瀧 山	川 田	圭 勝	平 祐
常 務	理 事	牛 千	込 田	伸 仲	章 二	〃	上 中	村 川	裕 裕	敏 子
理	事	阿 比	野 上	美 智	剛 代	〃	安 伴	藤 嶋	光 義	隆 博
〃	〃	井 伊	福 庫	元 良	彦 一	〃	豊 三	嶋 宅	智 章	富 章
〃	〃	大 東	島 村	孝 康	琢 郎	〃	畑 瀬	川 倉	里 和	豊 志
〃	〃	大 苗	村 村	武 武	一 夫	〃	阿 宮	内 嶋	康 純	哉 伴
〃	〃	岡 吉	田 山	泰 勝	和 修	〃	藤 上	村 矢	貴 寿	子 典
〃	〃	陰 加	古 橋	〃 悦	聡 三	〃	降 友	藤 田	公 邦	民 雄
〃	〃	高 細	川 元	勝 悦	彦 伸	〃	友 市	田 田	典 哲	洋 高
〃	〃	久 佐	木 々	真 雅	子 裕	〃	竹 河	上 藤	〃 正	也 稔
〃	〃	嶋 頃	田 安	安 重	一 樹	〃	松 新	山 本	信 千	幸 二
〃	〃	上 大	月 溝	貴 淳	郎 史	〃	倉 三	津 脇	久 隆	磨 一
〃	〃	小 久	池 保	和 直	司 広	〃	宮 村	元 井	秀 健	郎 士
〃	〃	黒 石	田 井	康 慶	樹 文	〃	下 山	土 本	博 博	城 和
〃	〃	平 小	松 野	泰 泰	大 隆	〃	福 吉	田 藤	洋 二	孝 郎
〃	〃	清 眞	水 下	〃 〃	人 忠	〃	近 藤	〃 〃	輝 輝	輝 輝
						監 事				

「テクノフォーラム2023」ご報告

11月17日 神戸駅前研修センターにて「テクノフォーラム2023」を開催致しました。昨年度のテーマである「今、SDGsにどう向き合うべきか」を更に深掘りし、今後のものづくり企業の具体的な取組みへの更なる後押しとなるべく「SDGs夢と現実への活用」として、三つの講演を実施致しました。

まず最初に5月30日の総会で「SDGsを企業経営に活かす」で登壇いただいた（一社）ソーシャルプロダクツ普及推進協会 事務局長の深井様に再びご登壇いただき、中小ものづくり企業の経営者の方々からよくお声を頂く「BtoBという制約の中でSDGsはどう取組むのか」にお応えして、多くの「BtoB活用」事例を紹介して頂きました。中には「BtoC」から「BtoB」に切り替えて先細り傾向にあった事業を反転させ成功している事例などもご紹介いただき多くの気付きを与えて頂きました。

次に(株)二川工業製作所 代表取締役 二川様、取締役統括部長 藪本様より「二川工業製作所のSDGs」と題して、取組みのきっかけについての部分からお話を起こしていただき、社員への意識浸透の推進活動、新規事業への展開、ブランディング活動及びそれらの効果、圧巻は就職希望者が激増した事など大変勉強になるお話をお伺いしました。

最後に日本のエネルギー・インフラ企業を代表して大阪ガス株式会社 理事 兵庫地区総括支配人 東様より、ものづくり企業にとっては最重要テーマである「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」について、「2050カーボンニュートラル 現実の壁を越えて夢の実現へ」と題してご講演頂きました。データや比較対象を明示した上でのお話し展開は非常に分かり易く、特に省エネも重要ファクターと位置付けた低炭素社会から脱炭素社会へ連続性をもった現実的な移行についてのお話は、基礎技術を日々鍛錬して連続して応用・展開していくという日本企業の底力を魅せていただき聴いていた方々に多くの示唆と活力を与えてくれました。

今後も技術・技能そして理論に基づき発展していくものづくり企業を応援・後押しができる工業会らしい企画を立てて参りますので引き続き宜しくお願い致します。



(一社) ソーシャルプロダクツ普及推進協会
事務局長 深井様



株式会社二川製作所 代表取締役 二川様



株式会社二川製作所 取締役統括部長 藪本様



大阪ガス株式会社 理事
兵庫地区総括支配人 東様



宮協会長 挨拶



会場の様子

兵庫工業会 淡路地域交流会開催

兵庫工業会では、県内ものづくり企業の地域ごとの悩みや行政・工業会に対する要望などをお伺いし、今後の事業に反映させていくことを目的として「地域交流会」を各地域で開催しています。

このたび淡路地域にて開催いたしましたので、開催内容を報告します。

(1)開催日 2023年11月28日(火)

(2)開催場所

- ・体験型見学：安富白土瓦
- ・企業見学：大昭和精機(株)
- ・意見交換会：淡路インターナショナルホテル
ザ・サンブラザ

(3)参加者

- ・淡路地域企業から 14名
- ・会員交流委員会委員他 5名
- ・兵庫県3名、淡路県民局3名
- ・兵庫工業会 宮脇会長、神門副会長 他
事務局を含め、計32名の方々にご参加いただきました。

(4)体験型見学

安富白土瓦様にて、淡路瓦の歴史や現状についてご説明をお伺いした後、製造現場を見学、コースター作りも体験でき、地場産業の一つである淡路瓦への理解を深めることができました。また、昼食に淡路瓦でお肉などの食材を焼いていただく淡路島名物“かわら焼き”を堪能しました。

(5)企業見学

大昭和精機(株)様にて、理想的な最新鋭の機械加工設備を見学させていただくと共に、製品の超高精度な品質レベルを確保するための設備や各種対策について、ご説明をお伺いしました。見学された企業の皆様は、その技術力の高さに非常に感銘されていました。

(6)意見交換会

会員交流委員会の中川(裕)委員の司会のもと、自社や淡路地域企業としての課題、行政・工業会に対するご意見・ご要望をテーマとして意見交換会を行いました。

課題や意見のほとんどが人材確保に関するものであったこともあり、県からは特に県内企業人材確保支援事業(奨学金返済支援)、外国人留学生の就労支援を活用して欲しいとお話がありました。

意見交換会に引き続いて行った懇親会でも色々と意見交換ができ大変有意義な交流の場となりました。

今回ご参加いただきました皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

次回の地域交流会につきましては、「丹波篠山地域」にて開催を予定しています。是非とも多くの会員の皆様にご参加いただき、忌憚のないご意見を賜りますよう、お待ちしております。



安富白土瓦での瓦説明の様子



大昭和精機(株)の工場前にて



意見交換会の様子

2023年度 「会員交流懇親会 忘年パーティー」ご報告

12月1日、恒例の「会員交流懇親会 忘年パーティー」を、120名のご参加をいただいて、神戸ポートピアホテルにて盛大に開催。交流・懇親を深めるとともに、コロナ禍で中止していたイベントも4年振りに復活して盛り上がりました。

イベントは、本館地下1階「偕楽」で16：00に始まりました。

会場に入ると、歩行姿勢を測定し歩行年齢を算出してくれる『歩行計測』、岩盤浴・温芯浴で体を「あたためる健康」を体験できる『悦ちゃん体験』などのコーナーがあり、奥へ進むと、『バターゴルフ』や、ラグビーボールを的に入れる『パスターゲット』ができるコーナーが広がりました。

会場中央では皆様お待ちかねの『日本酒とワインのきき酒クイズ』が催され、参加した方たちは、楽しそうにテイスティングをし、解答用紙に記入をされていました。

久しぶりのイベント開催でしたが、たくさんの方が参加され、大盛況でした。



バターゴルフの様子



パスターゲットの様子



利き酒の様子

続いて17：00より、本館30階のbuffetレストラン「GOCOCU」に会場を移して、忘年パーティーが始まりました。

宮協会長の開会挨拶に続き、今年度新たに兵庫工業会に入会された3社のうち、当日参加された有限会社共立工事 代表取締役の梶浦 雅丈様、国田運送有限会社 代表取締役の國田 泰宣様にご挨拶をいただきました。



宮協会長挨拶



有限会社共立工事 代表取締役 梶浦様



国田運送有限会社 代表取締役 國田様

次に行われた鏡開きでは、兵庫県の原田産業労働部長、兵庫工業会の宮協会長、金井副会長、神門副会長、吉井副会長、小谷副会長の6名が、お揃いの青い法被を着て、参加者の「せーの、よいしょ」の掛け声にあわせて力強く鏡を開きました。

参加者全員に、乾杯用のグラスに分けられた樽酒が配られ、神門副会長の乾杯の音頭で宴が始まりました。

乾杯が終わり、テーブルを囲んでの歓談が始まったところで、公務のため遅れられていた兵庫県の片山副知事にご到着され、来賓を代表してご挨拶いただいた後、歓談の輪に入られました。



鏡開きの様子



乾杯の発声



片山副知事挨拶

しばらくのご歓談の後、いよいよお待ちかねの福引き大会がスタートしました。

今年もおせち料理やカタログギフト、ホテル宿泊券などの豪華賞品を多数ご用意、商品提供企業の代表者にプレゼンターとなっていただきました。当日用意された景品は37本。前半の会員企業賞29本、後半の会長・副会長賞8本です。なお、福引きに当たらなかった方にももれなくお土産をお持ち帰りいただきました。

福引き大会の途中で、4年振りに開催したきき酒の結果発表も行いました。日本酒部門・ワイン部門とも難易度が高く、両部門とも全問正解者は1名だけでした。日本酒部門は全問正解者に加え3問正解者5名に「白鶴 祥雲 純米吟醸 白鶴錦」が、ワイン部門も同じく全問正解者に加え4問正解者3名、3問正解者2名に「コンチャ・イ・トロ カッシャロ・デル・ディアプロ」が進呈されました。



忘年パーティー会場の様子



会長賞贈呈



中締め挨拶

大いに盛り上がった福引き大会が終わると中締めです。忘年パーティーを所掌する会員交流委員会の番所副委員長のご挨拶と1本締めで、2023年度の会員交流懇親会は盛況のうちにお開きとなりました。

イベントへのご協力や景品のご提供をいただいた会員企業の皆様、当日ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。今後も兵庫工業会の活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。忘年パーティーの報告とさせていただきます。残念ながらお越しいただけなかった会員の皆様も、次回はぜひご参加されお楽しみください。

<景品ご提供>

- ・阿比野建設株式会社
- ・金井重要工業株式会社
- ・川崎重工業株式会社
- ・近畿日本ツーリスト株式会社
- ・グローリー株式会社
- ・上月ウディックス株式会社
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・株式会社神戸ポートピアホテル
- ・滝川工業株式会社
- ・ハニー化成株式会社
- ・バンドー化学株式会社
- ・株式会社ホテルオークラ神戸

<イベントご協力>

- ・株式会社アシックス
- ・株式会社関西工事
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・白鶴酒造株式会社
- ・メルシャン株式会社

(50音順)

ありがとうございました。

2023年度くすのき会（若手経営者の会）

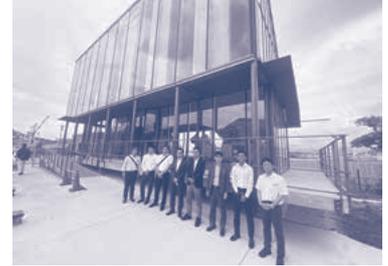
くすのき会（50歳未満の若手経営者グループ）では毎月1回の例会や分科会等、例会の懇親会も含め活発に活動をいたしております。各例会の活動をご報告していきます。

【9月例会“兵庫工業会 広島県外研修”のご報告】

9月の例会では、広島視察という企画のもと、広島県外研修に行ってきました。工作機械に用いるパワーチャック分野において国内トップシェアを誇る製造メーカーである(株)北川鉄工所を訪問させていただきました。

大手工作機械メーカーの工作機には、(株)北川鉄工所製のチャックは欠かせない製品となっているとのこと、チャック以外にも様々な工機製品の製造や高い鑄造技術による金属素材材の製造など多彩な分野で自社の技術力を発揮されており、これまで培ってきた生産技術力を感じ大変勉強になりました。

午後からは、大和ミュージアムを見学しました。戦艦大和の建造については、厳重な機密保持が設けられ、担当部門以外の情報は知ることができない状況で製作され、前方部、中央部、後方部と各部分をそれぞれに製作し、それらを最終的に組み合わせて完成させたとのことのお話を伺いました。建造当初、世界最大と言われた戦艦大和の建造技術は、当時の日本の最新技術の結晶であり、その技術はその後の日本の復興と高度成長を支え現代にも受け継がれているのだと感慨深いものでした。



県外研修の様子（9月例会）

【10月例会“姫路・播磨の基礎知識”のご報告】

10月の例会では、「姫路・播磨の基礎知識」をテーマに姫路独協大学村瀬客員教授にご講話いただきました。

兵庫県の成り立ちからはじまり、兵庫県に統合される前の飾磨県として、豊かな播磨の特性を披露いただきました。現在も姫路発祥で有数の企業や地場産業が残っており、過去から引き継がれてきた特性を今一度、住民が認識することで他地域との差別化を図れるのではと訴えておられました。

どの地域でも人口減少などの問題で困難な時代であり、自分自身が生活する地域を知り、地域の特性から知恵を出し合って活用していくことが肝要だと思いを直しました。



懇親会の様子（10月例会）

【11月例会“県庁の使い方”のご報告】

11月例会では、「県庁の使い方」をテーマに（公財）兵庫県勤労福祉協会 竹村理事長にご講話いただきました。

行政がどのように施策を立案し決定しているのか、実は企業の計画立案と同じ方法で進められていること、企業側からの議案を提出する方法など、普段聞くことのできない裏話も教えていただき有意義な時間となりました。また、どんどん兵庫県内の労働人口が減少していく中、今後県外への人口流出を防ぐための展望などもお聞きし、私自身も県内企業としてこの問題に対し重要性を再認識しました。



講話の様子（11月例会）

【12月例会“伊東電機(株)の見学会”のご報告】

12月例会では、県内で“輝く技術を持つ企業見学”ということで、加西市にある伊東電機(株)を訪問させていただきました。冒頭では、伊東社長より会社概要をご説明いただきました。

当初は近隣にあった三洋電機の下請けとして工場を設立。以降、SANYO製のモーターの修理、生産のための工作設備導入などで培った技術を基に下請けからメーカーになるため、自社製品の開発に舵を切り、搬送機用のパワーモータの製造販売に至った経緯や、伊東電機(株)がどのようにして現在のメーカー企業としての地位に上り詰めたかなど非常に勉強になるお話を教えていただきました。

工場見学では、第1～3工場まで見学し、自社製品を利用した生産設備など様々なコストダウンに取り組んでおられ、自社のコストダウンについても考える貴重な機会となりました。また機会をいただき再度伺いし勉強させていただきたいと感じることのできた有意義な企業見学となりました。

また、お土産にとパワーモータが主力の「FA・ロジスティックス」とは別の主力である「植物工場」で自社生産しているレタスをいただき、有難く食べさせていただきました。貴重な品を頂戴しありがとうございます。ありがとうございました。



企業見学の様子（12月例会）

令和5年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月26日、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫県工業会会長賞85名の方々が受賞されました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に兵庫県片山副知事、宮協会長より賞状と記念品が手渡されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



会場の様子



代表受賞者の知事賞授与



宮協会長挨拶

会員動向

住所変更		
企業名	新住所	変更月
三栄産商(株)	神戸市長田区駒ヶ林南町1番80 三栄産商ビル	2023年12月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
2月14日(水)	合同委員会	有馬温泉 元湯 古泉閣
3月12日(火), 13日(水)	会員交流見学会	TSMC熊本工場・(株)再春館製菓所
3月18日(月)	第3回理事会	ホテルオークラ神戸
5月25日(土)	ゴルフ大会	小野東洋ゴルフ倶楽部
5月30日(木)	第65回通常総会	神戸ポートピアホテル

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本部 神戸事務所 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231